



CSRレポート 2016

創業の精神 社是「三利の向上」

社是に「三利の向上」を掲げています。これは、創業者の貴重な経験と努力から生まれた、会社のあり方についてまとめたものですが、創業者の理念として、現在の「理想の姿」が生まれた背景になっています。

三利とは、お客様、社員、社会の三者の利をいいます。この三者がいかなる場合にも共に利あるよう全社員が一丸となって努力します。

各人が互譲、信頼の精神並びに共治、共栄、共福を達成し、社会に貢献していきます。

私たちが目指す「理想の姿」

1. 独自の技術・サービスでワーキングアメニティを創造し、豊かな社会の実現に貢献します。
2. 配管業に携わる方々をメイン顧客とし、感動を与える製品・サービスの提供を通じて、信頼される会社を実現します。
3. 社員一人ひとりが元気と笑顔で、働きがいのある会社を実現します。

トップコメント



代表取締役社長
宮川 純一

<「パイピング ソリューション」で社会貢献>

- ◆ レッキスでは、水道やガスなど我々の毎日の生活になくてはならないライフラインの確保の為、配管設備など様々な分野での商品開発に力を注いでいます。
「パイピング ソリューション」を合言葉に、あらゆる配管のトラブルや課題解決を通じてお客様の満足度の向上や社会貢献に取り組んでいます。
- ◆ 近年は特に震災などの災害に強い耐震性・耐久性に優れた配管システムの提案や、作業現場で働く人々の作業環境や環境保全など、お客様視点でのモノづくりを基本に、高品質な商品・サービスの提供を目指しています。

<CSR活動推進で人も企業も成長>

- ◆ レッキスではCSR活動（社会貢献）を大きく3つの分野で取り組んでいます。
 - ① 商品・サービスの提供を通じて社会インフラの整備に貢献
 - ② 障がい者雇用やボランティア活動を通じての地域社会への貢献
 - ③ 環境にやさしい商品作りや、省エネ・リサイクルで地球環境保全への貢献これらの活動を我々メンバー一人ひとりが「当たり前の行動」として積極的に取り組み、人（従業員）の成長を通じて「社会から選ばれる企業」を目指します。

<そして「私たちが目指す理想の姿」実現のために>

- ◆ 日本企業は、為替・エネルギー・税制など六重苦に苦しめられてきました。
そんな逆風のなか「日本のメーカー」として生き残るには、日本人が日本でしか出来ない商品サービスを提供し続けることだと思います。
- ◆ 一方で、世界で競争力のある商品を市場に提供するには、レッキスの中国・アメリカの工場や世界各地のビジネスパートナーとの連携が大変重要です。これらのグローバルパートナーは、昨年の熊本地震や6年前の東日本大震災、またタイ洪水などの災害や中国リスク等による事業継続計画（BCP）のリスクマネジメントにも重要な存在です。
- ◆ 最後に社内においては「ほめ合える文化」の浸透を通じて「個人も職場もやりがいがあり、達成感が得られる環境づくり」を推進しています。そして「笑顔」いっぱいの会社を目指します。

Challenge

あらゆる配管のトラブルや課題の解決にチャレンジします。

年々インフラ（配管）に関する事故が増えています。特に老朽化した水道管が次々と破裂し、大きな水害にまで及んでいます。レッキスは配管機器の総合メーカーとして長年にわたり現場での配管の課題やトラブルの解決にチャレンジして参りました。近年では耐震性や減肉への対応、さらに環境にやさしい配管に社会の要請が集まっています。

またこれまでは「配管すること」を主たる事業として参りましたが、「配管検査」、「配管トラブル解消」、そして「配管リフォーム」に関しても、コストや環境といった課題にチャレンジしています。

確実で強い配管

●地震に強いP E管での配管



阪神大震災でも耐震管材として性能が認められているガス用ポリエチレン管は、その後の各地での地震においてもその「耐震性」が立証され、配水用ポリエチレン管も需要が拡大しています。当社はこれらの配管システムの確立を進めています。

●配管の長寿命化を支える転造ねじ加工



転造ねじ断面



切削ねじ断面



転造ねじは切削ねじの1.5倍～1.7倍の肉厚が確保でき、耐震性に優れています。また表面のメッキ層がそのまま残るので、ねじ部分は防錆効果を発揮し、長寿命化に優れています。

配管トラブルを解消

「配管内トラブル解消のためのソリューション」

水圧・空圧・満水・検査

みるみるくん



管内検査

管内カメラ



パイプつまり

ドレンクリーナ



管内清掃

高圧洗浄機



赤水対策

スケール・ぬめり除去



磁気式水処理装置PWC

磁気式水処理装置PWC設置例
スケールの軟化・溶解が判ります。



それぞれの現場で
最適な配管保全システムを設計します。



障がい者雇用の歴史は古く、聴覚障がいのある方を雇い入れてから70年以上が経ちました。この間、障がい者雇用に関する協議会などを通じて働く障がい者を支援する活動も多く進めてきました。そんな「健全者と障がい者が自然に協働できる組織風土と、本業を活かした社会貢献」をこれからも進めていきます。

障がい者雇用率

昭和52年の障がい者雇用率が44%、平成元年では24%と高い雇用率を保ってきたことが組織風土となり、支援学校や、障がい者雇用に積極的な企業との交流を盛んに行っています。現在も雇用率10%（2016年度末10.3%）を維持し、職場環境の改善を続け、働きやすい職場づくりを進めています。

働く障がい者への支援活動

「大阪府布施障害者雇用対策協議会」の事務局を工場内に置き、周辺企業で働く障がい者の支援や、これから働こうとしている学生たちへの応援をしています。支援では毎年開催される「東大阪市民ふれあい祭り」に参加し、会員企業様から提供いただいたバザー品を販売し、売上金を協会に寄付しています。この寄付金が会員企業で働く障がい者の雇用定着を目的としたレクリエーションの一部に使われています。その他にも障がい者雇用を広めるための冊子「あゆみ」の製作や、障がい者雇用月間での街頭活動などに協力しています。



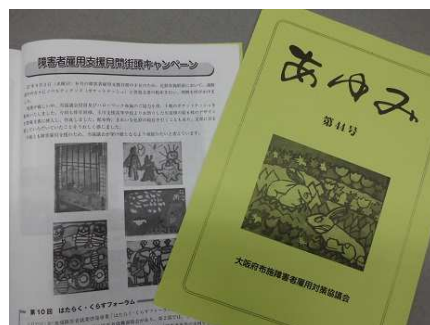
東大阪市民ふれあい祭りバザー店



バザー店内・スーパーボールすくい



レクリエーション「観劇会」



冊子「あゆみ」

支援学校との交流

今年もたまがわ高等支援学校の生徒さんに花壇いっぱいの花を植えていただきました。そのお礼に災害救護用品などを寄付し、喜んでいただけました。他には同高校で栽培された夏野菜の即売会が工場内で行われ、新しい取り組みがスタートしました。その他、支援学校からの工場見学や、職場実習の受入れも継続しており、各校との交流を深めています。

採れたて夏野菜の社内即売会

8月の2日と10日に東大阪工場のお昼休憩時に、たまがわ高等支援学校で栽培された野菜の即売会を実施しました。生徒さんが手塩にかけ育てた野菜は色艶よく、両日とも時間内に完売となりました。一生懸命に売り役に徹して頑張った生徒さんはたくましく見え、また一つ新しい交流が始まりました。



今年も花壇に花がいっぱい

たまがわ高等支援学校の生徒さんが季節ごとに色とりどりの綺麗な花を運んできてくれます。毎年違った花が咲き、近隣の方々がこの花壇に腰を下ろして話しをされている姿も増えました。そんな憩いの場をこれからも大切にしていきます。



工場見学と職場実習の受入

各支援学校の生徒さんが工場見学に来られました。見学は次の職場体験へと繋がり、今年は2校から職場実習の受入れを行いました。実習後、生徒さんから届いたお礼状は私たちの励みにもなります。その内容から作業改善のヒントになることもあります。これからも工場見学・職場実習受入の場を増やしていきます。



児童施設、関連学校への支援

小さなことの積み重ねを大切にした支援（社会貢献）

児童施設への寄付や子供たちへの支援を広げています。年末に児童施設にお餅を寄贈し続け、何時しか子供たちがその日を楽しみにしてくるようになりました。そんな思いを少しでも増やそうと、寄付する先が増えてきました。また市内の高等学校には一年を通して授業を支援するようになりました。

児童施設への寄付

11月に「こどもの里」で開催されているバザーに従業員から集めた古着を、12月には「生駒学園」にお餅を寄贈し、年明けにはそれぞれの施設よりお礼の手紙をいただきました。手紙からは子供たちの明るく楽しそうな様子が伝わってきました。また、他の児童施設への寄付金も定着してきました。



近隣児童施設の子供たちを招待

5月は近隣の児童施設の子供たちを市民ふれあい祭りに、8月には社内のバーベキューパーティに招待してアトラクションや、抽選会・食事などを楽しんでいただきました。

一年で一番暑い時期のパーティでは「かき氷」や「ジュース」が飛ぶように売れ、水に浮かぶボールをすくい取る姿は暑さも吹き飛んで行くようです。そんな夏の楽しみがまた一つ増えました。



高校生の年間研修受け入れ

市内の高校に「デュアル総合学科」があり、この科の生徒さんたちは一年を通して毎週同じ会社に通い実習を受ける授業があります。当社では2015年からこの科の生徒さんの受け入れを始めました。一年を3つの工程に割り、当社製品の「部品管理」（資材部）⇒「製品組立」（製造部）⇒「製品保管」（ロジスティクス部）を体験しながら学んでいただきます。2016年は女生徒さんが一年間頑張り、その間に地域を紹介するネット新聞からの取材も受けました。このように生徒さんにとって有意義な一年になるような受け入れを続けていきます。



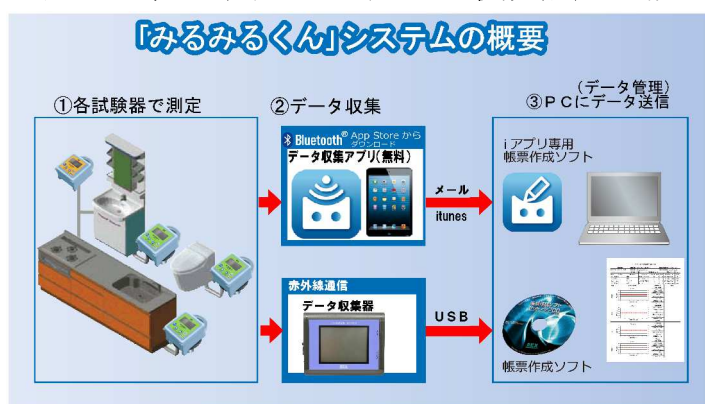
地球環境を大切にした活動の展開

事業活動を通じて環境保護に貢献

環境方針「事業活動を通じて、環境保護に貢献する」を掲げ、自社商品の環境配慮や製造活動における省エネ（電力削減など）・排出されるゴミの削減（リサイクル率向上）などを重要項目として取り組んでいます。

環境対応商品の開発

「新verみるみるくん」（水圧・満水試験器）を開発⇒販売。従来の機種に比べ iPhone®、iPad®でデータ収集が可能になり、その利便性が試験データ枚数（紙）の削減など環境に優しい製品となりました。



製造活動における電力削減

商品の製造過程で部品を1秒でも短い時間で加工・組立できるように生産の効率化改善を進めています。加工工程では特殊ドリルの採用などで負荷なく切削速度を上げたり、広い工場内を冷やす空調設備の順次更新や、生産機械の使用時間帯の調整で過度の電力使用がないような取り組みも行っています。

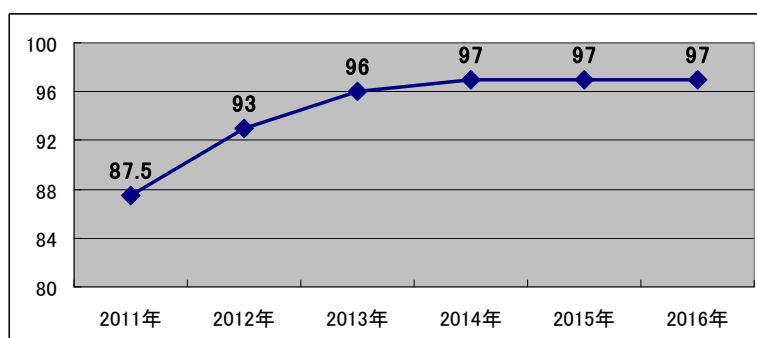
＜東大阪工場・製造棟の2016年度削減効果＞

*年間電気使用料 2015年度：106万Kwh ⇒ 2016年度：96万Kwh



廃棄物リサイクル率の維持・向上

廃棄物の徹底した分別などにより、再利用可能な排出物を資源として扱い、リサイクル率維持・向上を進めています。また仕入先の依頼もあり、使わなくなった木くず・ダンボールなどを供給して、再使用に協力していただいています。結果、リサイクル率は97%を継続しています。





「社員一人ひとりが元気と笑顔で、働きがいのある会社」を目指しています。職場の安全、社会ルールを守ることを大切に、明るく活気があり、コミュニケーションの良い会社づくりを進めています。

安全衛生活動と、災害対策

毎月定例の安全衛生委員会を開き、その中で社内の安全パトロールを続けています。特に通路や棚上などを重視し、避難路確保など災害時を想定した内容になっています。そんな有事の際には直ぐに初期消火が可能なように日々緊急時訓練を行い、その成果確認として市内消防署で行われる消火大会にも参加しています。(2016年度 ◆消火器の部：優勝 ◆消火栓の部：準優勝)



法令順守と、法改正の確認

自社で冊子化したコンプライアンスガイドブックの法令一覧を基に法令順守に努めています。その法令の改正をいち早く知ることが今後の課題となり、品質保証部主管で改正情報の確認システムを検討し、年2回の改正確認を行っています。



ありがとう経営の定着

社内ネットワークを使った「ほめ合える掲示板」では、毎年多くの「ありがとう！」が書き込まれています。掲示板には海外オフィスからの書き込みもあり、従業員のコミュニケーションの場にもなっています。従業員みんなの「ありがとう！」は、明るい会社・職場へと繋がっています。

*最終目標：全員参画の参加率 100%

年度	2012	2013	2014	2015	2016
ありがとう件数	456	942	1301	1935	2203
参加率 (%)	47	54	60	69	75



健康経営を目指して

定期健康診断・ストレスチェック・特定健診を受診し、その結果により健康診断では産業医が特定者との面接を行い、ストレスには職場改善案の展開を始めています。10月には東大阪工場内の食堂を再開し、低カロリー・減塩など健康に配慮したメニューを提供しています。他にも心身ともに従業員の健康を目指した改善・工夫を計画しながら、この先「健康経営優良企業」を目指していきます。

そして、これらを通じて「働きがいのある職場づくり」を進めていきます！

「健康宣言」エントリーシート

当社は、下記の健康づくりを促進し、「健康経営®」に取り組むことを宣言します。

1. 健康診断の実施
従業員の健康診断受診率100%を目指します！
2. メタボリックシンドロームの予防

REX

東大阪市菱屋東1-9-3

レッキス工業株式会社

<http://www.rexind.co.jp>